2022 年(令和4年)4月1日 くげぬま探求クラブ

会報









第 109 号 (春号)

◇ くぐひ (鵠) は白鳥の古い呼び名。鵠沼には昔たくさんの白鳥が飛来したことによる ◇

新年度への期待

世話人代表 大木信一

一この1年を振り返って一

2021年4月、世界的な新型コロナウィルス感染(以下コロナ)下で、私は世話人代表となった。 コロナは、日本では前年の3~5月に第1波、7~9月に第2波、11月~2021年2月に第3波と徐々にピーク時の感染者数を増加させていた。

世話人 1 年目の 2021 年度になっても、4~6 月に第 4 波、7~9 月に第 5 波の感染拡大があった。特に東京オリンピックの開催時期と重なった第 5 波は変異したデルタ株で感染者数が急増し、ピーク時の 1 日あたり全国新規感染者は 25,000 人を超えた。その後 2 回のワクチン接種が進んだことで、感染は沈静化したかに見えた。しかし 2022 年 1 月以降、感染力がさらに強い新たな変異オミクロン株により、全国の 1 日あたり新規感染者が 2 月には 100,000 人を超える状況となった。

当クラブで毎年恒例となっている花見・納涼会・忘年会や鵠沼公民館まつり、さらに地域行事の地域 活動見本市、湘南なぎさパークまつり、鵠沼地区賀詞交換会等は軒並み中止となった。

まさに新型コロナに翻弄された1年としか言いようがない。

このような状況下でも、皆さんの大いなる知恵と工夫によって出来る限りの部会活動や例会開催、くぐひ発行が継続できたこと、さらに鵠沼公民館でのサークル紹介パネル展示に参加できたことは、会員の皆さん、とくに各部会長らの熱意と努力の賜物と、心から感謝する次第である。

--2022 年度の目標と期待--

さて、2022 年度くげぬま探求クラブの活動への期待を語ろう。コロナが今後どうなるかは、全く分からないので、それは抜きにして思い描いている。

地域活動、親睦・研鑽活動の各部会は、休会が続いていた部会も含め、部会活動の在り方をメンバー内で再確認して新たなスタートを切る良い機会であり、より充実した活発な部会活動ができると期待する。

それは、全員参加型の恒例行事についても同様である。会員が好奇心を持って自主的に参加し、それによって心身が活性化し、楽しく良かったと感じる場となるように、盛り上げていきたい。特に鵠沼公民館まつりは2年続けて中止となっており、今年度は何としても開催できるように知恵を絞って働きかけたい。

次は、新規会員の開拓である。2021年度は新規入会者が1名であり、危機感を持って、当クラブの趣旨に賛同する新しい仲間を増やしていきたい。会員の皆さんにも、是非、機会あるごとに当クラブの魅力の発信と勧誘をお願いしたい。

最後に、2023 年度に迎える創立 30 周年記念行事への期待である。私は今、アーカイブ委員会のメンバーとして、過去資料のデータ保存に取り組んでいるが、くげぬま探求クラブ草創期の資料からは、メンバーの熱く燃えるエネルギーがひしひしと伝わってくる。今年度の早い時期に記念行事の実行委員会が結成され、各部会や会員一人一人からの企画を集めてじっくりと練り上げ、鵠沼公民館を拠点に地域社会活動を行う当クラブの創立 30 周年にふさわしい記念行事が盛大に行われることを期待している。

地域活動部会紹介 藤が谷公園愛護会

藤が谷公園愛護会の沿革

長谷川 元保

藤が谷公園は鵠沼の東側の境川沿いにあります。 国道 467 号線の境川橋から南に 100m ほどの約 2,900 ㎡ (880 坪) の公園で、1982 (昭和 57) 年に藤沢市 で 134 番目に登録された街区公園です。

当クラブ創立の5年後に「公園委員会」(今はありません)が発足して「鵠沼松が岡公園愛護会」の活動が始まった3年後(2001年)に、「鵠沼松が岡公園だけではなく、ほかの公園もやってみたい」という声が上がって、「藤が谷公園愛護会」の活動が始まりました。毎月と年末の公園清掃と春秋の花壇の花植えです。公園には三つの花壇があり、2011年から花植えは近所の幼稚園や保育園の子供との協働作業です。

明治 15 年側図の「鵠沼村域土地利用図」では江ノ電鵠沼駅付近から湘南学園付近の南側は多数の干潟が点在している不毛の砂地で、その北側一帯は草地でした。江ノ電鵠沼駅と柳小路駅周辺の砂丘は自生の樹木に覆われていました。江戸時代中期から幕府の鉄砲射撃訓練場となり、住むことを禁止されていましたが、明治 35 年に江ノ電が藤沢と鵠沼間で開通すると、鉄道開通を機に日本最大の別荘分譲地「鵠沼海岸別荘地」として開発が行われ、その開発範囲はほぼ鵠沼藤が谷 2、3 丁目、鵠沼桜が岡 2 丁

目、鵠沼松が岡1~4丁目、鵠沼海岸1、2丁目で、開発面積は約25万坪(東京ドーム約18個分)でした。区画整理した道路建設、松の植林、水路建設などが行われ、鵠沼駅北方の砂丘が当時では信じ難い百両の高値で取引されて、一帯を「百両山」と呼ばれました。

境川には堤防が無かったので、台風や大雨でしば しば氾濫しましたし、川筋も洪水で蛇行して、川袋 の地名や蓮池に名残を留めています。

1980 年代に神奈川県と東京都が流域各市による「境川流域総合治水対策協議会」を発足して、「境川流域整備計画」を策定して両岸に堤防を建設しました。江ノ電境川橋梁架け替えと鵠沼駅駅舎の地下化、線路の高架化が行われました。

藤が谷公園の場所は大正5年に三越店員愛護会が 三越店員の保養所として造った約2千坪の「三越鵠 沼倶楽部」のテニスコートの跡地です。「三越鵠沼倶 楽部」には当初茅葺屋根の風雅な日本家屋が有りま したが、大正12年の関東大震災で倒壊しました。昭 和3年に新しく日本家屋と洋館が建てられ、戦時中 のことは分かりませんが、戦後もありました。1980 年代に宅地開発が行われ、藤が谷公園ができました。



親睦研鑽部会紹介 探訪部会

「七福神めぐり」について

森 芳之

福徳をもたらしてくれる七福神が祀られている 寺社をお参りするのが七福神めぐりです。

七福神への信仰は室町時代に生まれ、江戸時代にこのご利益を求め、新年の正月行事として七福神めぐりが盛んに行われるようになったと言われています。

七福神は福徳の神様を集めたもので、古代中国の 竹林の七賢人を模したとも、仏典の七難即滅、七福 即生が由来になったともいわれています。江戸時代 には現在の七福神の形になったようです。

七福神とは当時の日本にとって世界、唐・天竺(中国、インドの地域)で福をもたらすとされていた神

様を集めたものです。 次の七人の神様です。

恵比寿天は蛭子尊もしくは事代主で漁業や商売繁盛の神様で、唯一の日本の神様です。

大黒天はヒンドゥー教のシバ神で、台所・五穀豊穣 の神で豊作、商売繁盛、出世開運のご利益。

毘沙門天はヒンドゥー教のバイシュラバナという 神様で、金運を上げるご利益。

弁財天はヒンドゥー教の水の神様で、商売・芸能に ご利益。

寿老人と**福禄寿**は道教に出てくる神様で長寿のご利益。

布袋尊は中国に実在した禅宗の僧侶で、不老長寿・ 無病息災のご利益があるといわれています。

現在、七福神めぐりは全国に300ヵ所以上あると言われています。

当健康・探訪部会で巡ったものでは藤沢七福神(皇大神宮から江島神社まで八寺社で、約15キロ

の行程)、鎌倉七福神(鶴岡八幡宮から北鎌倉、江島神社まで観光地内の寺社)、平塚七福神(近年に整備された寺社巡り)、小田原七福神(小田原城の裏手、城山から海岸沿いの市街地に点在する)、東京では日本橋七福神(日本橋の下町、人形町内に点在し、水天宮を始め、由緒ある寺社が多い)、深川七福神(江戸の下町情緒を残す町並みの中に点在する)、谷中七福神(都内最古の七福神で古くから信仰を集めていた)があります。それぞれ、趣の異なったお姿をしています。

七福神めぐりは多くが正月行事として、1月元日から 15日、月末までに行われるものが多いようです。

普段、それぞれの寺社の奥に安置され、なかなか拝 観できない神像がこの時期だけ拝観できる楽しさ と具体的なご利益を願うことで身近さを感じるこ とが出来ます。





七福神めぐり

アーカイブ委員会報告

作業進行中!

小山 和彦

当クラブは 2023 年に創立 30 周年を迎える。これを機に創立時からの資料、活動記録をアーカイブとして 1 か所に保存してはとの提案があり、委員会を作って作業を進めることとなった。

"アーカイブ (archive)"とは、「記録や資料などをひとまとめにして保存すること」や「そのようにしてまとめられた資料群のこと」、さらには「その保存場所や保存機関のこと」を表す。

資料は創立当初からしばらくの間は紙であったから、時間の経過と共に劣化したり散逸したりすることが避けられない。また、作られた資料も世話人会、部会、イベント毎の記録として個人が所有・保管しているものも多数ある。これらの分散している資料を一か所に集めてデジタルデータにしておけばいつの時代でも遡って参照が可能となる。

幸いにも IT 技術の進化によって、クラウドストレージが一般的になってきた。誰かの PC にデータを保存しておくのではなく、外部にあるサーバにまとめて保存ができるので、散逸の不安も解消され、メンバーはいつでもどこからでも保存されたデータを参照できるようになる。

年明けの1月には保存するサーバをGoogle Driveに決定してクラブのアカウントを取得した。ここにアーカイブができることになる。

委員会は現在、収集資料の確認作業を行っている。まずは公民館横のクラブ倉庫に保存されている「例会資料ファイル (1999 年上期~)」から作業を開始し、保存されているファイルを委員に割り振って、残されている資料の中身をリストアップし、欠落部分がないかチェックを行ってから作業終了次第、スキャナーでのデジタル化をしていく予定である。

また、この作業と並行して、アーカイブ内のフォルダ構成、ファイル名、画像、動画の保存方法なども検討していく予定である。

地域活動見本市と鵠沼公民館パネル展示開催結果報告

世話人会

令和3年度もコロナのために公民館まつりを始め、各種催しが中止になり残念な状態が続いています。私たちが会員募集の良い機会と捉えて参加した「地域活動見本市」は、昨年9月11日にFプレイスホールで開催予定の第14回見本市が、無観客の舞台発表となり「いきいきシニアサイト」での掲載だけになりました。また、今年2月5日に市役所本庁舎で開催予定の第15回見本市も、オミクロンのため中止となり、新入会員を一人でもと張り切っていた世話人一同、がっくりでした。

一方、鵠沼公民館サークル交歓会から、公民館まつりの中止で展示発表の場がなかったため、今年1~3月の期間に本館1階ロビーにて「パネル展示」を開催することになったとの話がありました。

好機再来と捉えて、探求クラブに加えてヤング ブラザーズとヤングハーツの2部会が要望を出し、 3か月連続でアピールすることになりました。

ヤングハーツがトップを切って1月17日から24日まで、ヤングブラザーズが2月7日から14日まで、探求クラブが3月7日から14日までと要望の通りとなりました。ヤングブラザーズのパネル展示の期間中、7日に市長、12日に副市長の視察があり、また公民館の要請により展示が21日までの2週間に延びました。両部会のパネルは魅力ある出来映えで、ご覧いただいた皆さんの興味を引いたと思います。

3月の探求クラブの展示では世話人が手分けしてパネルの前に立ち、興味を示された方には声掛けして更なるご理解を得るよう努めました。先行の2部会のパネルでの効果もあろうかと思いますので、より多くの方にご覧頂き、入会の端緒になればと期待しています。



シリーズ 明日から役立つ気象のはなし

(3) 春に3日の晴れはなし

小川 隆

「春に3日の晴れはなし」という諺をご存知でし ようか。春の天気は移り変わりが早いことを言い表 したものですが、冬型の気圧配置が弱まり、この季 節は高気圧が移動性となって日本付近を広く覆い ます。大陸生まれの移動性高気圧は、空気中に水分 を多く含んでいないため、高気圧の圏内ではスッキ リと晴れることが多く、気温も上がり春爛漫の陽気 になります。ただ、移動性高気圧の後には低気圧が 控えているため、高気圧の中心が通り過ぎるころに は、澄んだ青空に薄雲が広がります。低気圧が近づ くにつれて雲は厚みを増し、天気は下り坂になりま す(図1)。春は日本列島の上空を流れている偏西 風が強いため、高気圧や低気圧の動きが速く、高気 圧に何日も覆われることはありません。このため春 の晴天は3日と続かず「春に3日の晴れはなし」と いうことになるわけです。

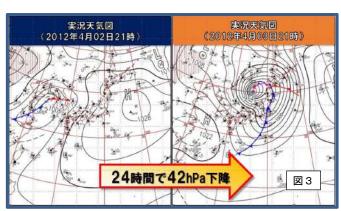
春の移動性高気圧や低気圧の移動速度は時速 40 キロメートルから 50 キロメートルで自動車並みの速さです。時速 40 キロメートルから 50 キロメートルは、1 日で約 1,000 キロメートル、経度にして約 10 度を移動することになります(図 2)。1 日に経度 10 度進むということは、今日、上海付近にある低気圧は、明日には九州付近、明後日は東京付近に近づき関東の天気を崩すことになります。高気圧と低気圧の移動速度や進路は、その時の気圧配置などにより変わりますが天気を予想する一応の目安になります。

移動性高気圧に覆われ穏やかな日がある一方、こ の季節は時として大荒れの天気になることがあり ます。その原因となるひとつが「爆弾低気圧」です。 爆弾低気圧は急速に発達する温帯低気圧の通称で、 中心気圧が24時間以内に24ヘクトパスカル以上も 低下するものを指します。爆弾低気圧は冬季に多く 発生し冬の嵐をもたらしますが3月、4月も油断が 出来ません。この季節、日本の北にはまだ真冬並み の冷たい空気が残っています。一方、南からは春の 暖かい空気が入り、この2つの空気がぶつかる日本 付近では、温度差をエネルギーとする低気圧が急速 に発達しやすくなります。2012年4月03日から05 日にかけて日本付近を急速に発達しながら通過し た低気圧は24時間に中心気圧が42ヘクトパスカル も下降し九州から北海道にかけての広範囲で暴風、 大雨、高波が発生しました(図3)。山形県酒田市 飛島で最大瞬間風速51.1メートルを観測するなど、 75の観測地点で観測史上最大の風速を観測し、建物 の下敷きになったり、風にあおられて転落するなど して、日本国内では計5人が死亡したほか、350人 以上が負傷する大きな被害が出ました。

大きな被害をもたらす気象現象の代表は台風ですが、台風による暴風は中心付近だけの激しい現象なのに対し爆弾低気圧は広範囲で暴風が強まります。また台風のように進路予想が発表されることもなく、日本付近で短時間に急発達するため「あっという間に風が強まり波が高くなった」ということになります。暴風や高波の持継続時間も長く、防災対策は台風より爆弾低気圧のほうが難しいといえます。春本番、お出かけの機会も多くなります。山や海のレジャーにお出かけ前は必ず天気のチェック、天気図上に低気圧が現れたら中心気圧の変化にも注目して下さい。







ビフォア・アフター

出会いを楽しみに

井上 忍

2012 年、移住した 100 戸弱の新設の団地は、住民の 95%が 40 歳前後の子育てとマリンスポーツを目的にした家族で、私も SUP 仲間にと誘われ、烏帽子岩や江の島への SUP ツアーや海浜での BBQ と遊んで貰いました。

3年目とその翌年、偽痛風に苦しみ SUP は止め、朝晩は妻と海浜を散歩し、主に健康・体力の維持を心掛ける生活にしました。

2019 年春、私と妻は鵠沼公民館の"笑いョガ"に参加し、そこで演奏&歌うグループのヤングハーツを知り、ヤングハーツへの参加を目的にくげぬま探求クラブに入会しました。

入会後に加入したヤングブラザーズでは、私より 高齢者が多いのに発声が続く時間の長さと声量に 驚きました。また、新年会のレストランでは、皆の 大合唱に感動感激し、身体が震えて、歌う事が出来 ませんでした。 少し前から、談話室、極楽部会、子供と遊ぶ会、 災害研究部会等、多くの部会に参加する様にしてい ますが、座右の銘としているサミュエル・ウルマン の「青春」の詩の如く、当クラブの皆さんが目標を 持って活動している姿や部会での情報は、新鮮で私 を前向きにしてくれます。また、部会後の反省会で は個性ある話も聞けるので楽しみです。

学生の頃、一人で旅に出ると多くの人との出会があり、その人の生き方、知性や感性を知り感動共感することも多く、これらの経験から、人生とは多くの人との出会いと知己を得ることだと得心しました。

今は一人旅も難しい状況ですが、これからも多く の出会いを期待しています。

また、当クラブの方達から、色々な話が聞けるのが楽しみです。

卆寿を迎えた三人

北岡 慶太郎

くげぬま探求クラブで初めて卆寿 (満 90 才) を 迎えたのは、大正 13 年 (1924 年) 生れの高橋正路 さん (2009 年入会、93 才で物故) と記憶している。

私達は昨年卆寿を迎えた三人で、北村裕彦(1931年5月生れ・1996年クラブ入会)、佐藤恒夫(同6月生れ・1997年クラブ入会)、北岡慶太郎(同12月生れ・1993年創立に参加)、クラブメンバーとしては現役最高齢となった。

私達三人が生まれた昭和 6 年(1931 年)は満州事変が勃発しやがて大東亜戦争へと進展し、小学校も尋常小学校から 1941 年には国民学校と名称が変わりいよいよ戦時色一色に、1934 年に中学(旧制)入学、カリキュラムを受け6月には学徒勤労動員令が発令され軍需工場を中心、処によっては農業関係へ動員され、高等女学校生(中学)も同じです。

私は横須賀海軍航空技術廠へ動員され、風洞実験の雑用や地下工場での旋盤の切削実習などの作業に従事し、やがて 1945 年 8 月 15 日の終戦の日を迎えた。

中学2年の秋に復学し、翌年には学制改革(6-3-3-4制)への移行が決まり、旧制中学3年終了から新制高校1年に編入し、高校2年で旧制中学4年終了として、旧制大学の予科又は専門部、旧専門学校の受験が出来た。また高校2年終了で旧制中学を卒業か高校3年で卒業するか選択出来ると言うややこしい時代であった。更に新制大学の受験には進学適性検査、現在の大学入学共通テストを受けて新制大学を受験することになる。

当時は戦後の混乱期で食糧難でのヤミ食料の買い出し、高校から大学は日雇いの掛け持ち(アルバイト)、こうして新制大学を経て晴れて社会人デビュー、会社人間の始まりであり幾つかの××景気に翻弄された波乱のサラリーマンの始まりでした。

そして、通勤の帰り駅で貰った一枚のチラシ"「シニア探検クラブ」のお誘い"それが運命の始まり。 やがて来る三十周年に向けて三人そろって頑張ります。



「くげぬま探求クラブ」はあなたの入会をお待ちしています。 「会社人間から社会人間へ」を目指す方々は「発行人の大木」までご連絡下さい。 ホームページアドレス http://kugenumatankyuclub.web.fc2.com/、 左の QR コードまたは「くげぬま探求」、「鵠沼探求」で検索してください。

~例会・各部会活動報告~

12月 December

- 分を徴収する事を承認
- ○世話人・委員会 ①世話人会1日6名
 - ②アーカイブ委員会 18 日 8 名 ◆探求倉庫内の紙資料 ○極楽部会 15 日 公民館 16 名 成年後見制度 確認 ◆収録ストレージは Google Drive に決定
 - ③くぐひ制作部 8日(水) 10名 くぐひ 108号(正月 ○農園部会 5日6名、22日6名、冬野菜収穫 号)推敲。17 日 7 名で故磯川さん寄贈の A3 プリンタ ○談話室 15 日 15 名 健康を探求する会の発足など ーで 100 部印刷
- ○鵠沼松が岡公園愛護会 5 日 15 名、19 日 13 名に加え 29 日12名 の年末清掃
- ○藤が谷公園愛護会 12 日 9 名と 28 日 8 名の年末清掃
- ○ヤングハーツ 1日13名 月初練習◆6日10名 鵠洋児 童館クリスマス親子25名が参加、サンタも登場
- ○おもちゃの病院 12 日 11 名(1) 来院 24 名、26 日 13 ○メディア委員会·HP制作部 ○サロン会 ○探訪部会 名(2) 来院25名、両日とも忙しかった
- ○子どもと遊ぶ会 鵠洋児童館 22日7名、スタッフ3名、○なつかしの名盤愛好会 ○おひる探Q会 児童9名参加で「ミニ門松作り」

- ○例会 6 日(月) 36 名◆会費、12 月は徴収せず 1~3 月 ○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 19 日 7 名(1)、子供 12 名参 加、コロナ対策の対戦形式で実施
 - ○災害研究部会 3 日 12 名(2) 冬の防災/地球温暖化

 - ○健康部会 17 日、雨で中止

 - ○デジタル情報部会 27日21名 写真修正、半導体不足、 ワクチン証明アプリ、Windows11情報
 - ○ヤングブラザーズ 11 日 15 名(4)、25 日 18 名(6)
 - ○似歌会 通信句会 10名 兼題「行く年」で29句

以下の委員会・部会は新型コロナ感染対策等のため休会

- ○カラオケ部会 ○近代史を語る会 ○企業研究部会

1月 January

- ○例会 11 日(月) 38 名 1~3 月会費徴収。磯川夫人より○災害研究部会 7 日 15 名(3) 関東大震災など A3 プリンターの寄贈をうける
- ○世話人・委員会 ①世話人会5日6名

 - ②くぐひ制作部 12 日 10 名 第 109 号編集会議 17 名 六寺院を回り 15 千歩 ③アーカイブ委員会 15 日 8 名 1 回目の入力結果、○農園部会 9 日 6 名、27 日 5 名、白菜などの収穫 収録ストレージ、作業用仮フォルダ、など討議。
- ④メディア委員会及び⑤HP制作部は休会
- ○鵠沼松が岡公園愛護会9日12名、23日10名清掃
- ○藤が谷公園愛護会 9 日 11 名 仕事始めの清掃
- ○ヤングハーツ5日13(7)名 月初練習 17日 公民館サークル交歓会パネル展示を開始
- ○おもちゃの病院 9日 12(1)名 来院 24名、23日参加 ○似歌会 通信句会 10名 30句 兼題は「初」 13(2)名 来院 34 名、年明けも盛況
- ○子どもと遊ぶ会 28 日 5 名 鵠洋児童館で行う「冬の 以下の部会は新型コロナ感染対策等のため休会 工作フェスタ」の準備
- ○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 16日 参加 子供12名 クラ ○企業研究部会 ○なつかしの名盤愛好会 ブ6名 公民館1名 父兄8名 予約制で対戦

- - ○極楽部会 19 日 17 名 高齢者の住まい、介護保険
 - ○健康部会/探訪部会合同藤沢七福神巡り 14 日 参加 17名 六寺院を回り 15千歩

 - ○談話室 19 日 14 名 話題に出た「健康について考える 会」を27日に分科会として開催
 - ○デジタル情報部会 24 日 19 名 暗号技術、センサー、 Brave など
 - ○ヤングブラザーズ8日15(6)名、新ピアニストの伴奏 で練習。 22 日はオミクロン蔓延で中止

- ○サロン会 ○カラオケ部会 ○近代史を語る会
- ○おひる探Q会

2月 **February**

- ○例会7日(月)33名2月の15回地域活動見本市中止 ○極楽部会16日13名、リバースモーゲージとリース の報告 花見の可否は来月の例会に諮る
- ○世話人・委員会 ①世話人会 2 日 6 名 ②くぐひ制作 部 9 日 9 名 第 109 号の 2 回目編集会議 ③アーカイ ブ委員会 ④メディア委員会・⑤HP 制作部 は休会
- ○鵠沼松が岡公園愛護会 6 日 16 名、 清掃。ベンチ4脚を製作
- ○藤が谷公園愛護会 13 日 4 名 清掃、雨
- ○おもちゃの病院 13 日 11(2)名 来院 33 名、27 日 13(2)名 来院 38名 来院者は相変わらずの盛況
- ○子どもと遊ぶ会 11 日 鵠洋児童館 参加 5 名 子供 12 名 職員 PTA 8名 冬の工作フェスタ
- ○鵠っ子囲碁・将棋ルーム 20 日 子供 16 名 探求 7 名 (1) 公民館1名 保護者8名 来月の大会に応援要請
- ○災害研究部会 4 日 12 名(2)、春一番など

- ○健康部会 25 日 8 名、衣張山からの眺望
- ○農園部会 6 日、23 日共に7名で作業
- ○談話室 16 日 22 名 成瀬さんのドバイ滞在記
- ○デジタル情報部会 28 日 20 名 暗号資産、QR コード
- ○俳句の部会「似歌会」通信句会 10 名 30 句
- ○ヤングブラザーズ 12 日中止 26 日 公民館工事のため 3月4日へ振替も中止

以下の部会は新型コロナ感染対策等のため休会

- ○ヤングハーツ ○サロン会 ○探訪部会
- ○カラオケ部会 ○近代史を語る会 ○企業研究部会
- ○なつかしの名盤愛好会 ○おひる探Q会

()内はゲスト人数で内数

クラブ短信

新型コロナウイルス感染拡大により、公民館の各部屋の定員数が変更になり、それまで例会で使用していた 第3談話室に全員が入りきれなくなったため、ホールでの開催を余儀なくされてきた。しかし、その後定員 数が再改定されたことに伴い、3月より第3談話室での例会が可能となり、5日土曜日に約2年振りの同室 での開催となった。第3談話室に戻り多少密だが、各位の顔が見られて良い等の意見が出た。

ドバイよれよれ老人夫婦滞在記

成瀬 義雄

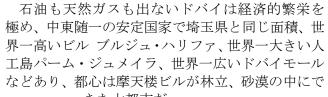
80歳すぎの老人夫婦、コロナ禍の最中無謀にも在ドバイの息子と相談、1カ月滞在することにした。息子が日本の通販で買った品を持って息子夫婦の家に世話になった。

成田空港での PCR 検査書とコロナ予防接種証明

書を持って気軽に搭乗し、12 時間のフライトでドバイに到着。ディルハム AED (1 AED=約30円) という初めて聞く通貨、朝昼晩と三度の用意された食事でドバイ生活が始まった。

ドバイは典型的な車社会であり、夏は 気温 50 度にもなり外は歩けない。冬は 20 度から 25 度で過ごしやすい。たまに 雨が降るが除水設備がなされていない ので大変だ。道はイギリス風にラウンド アバウトで信号が少なく慣れないと運転がむずかしい。しかも中心街の道は片側 7 車線、時速 100 kmで飛ばしていて、たまにスポーツカーもみかける。

人口 470 万人の 80%を外国労働者、 とくにインド人、パキスタン人が占め、 20%のドバイ人は初任給が 150 万円、さ らに月 100 万円の支給がある、と聞く。 皆金持ちで肥えている人が多い。



きた大都市だ。

年寄りは優遇され、年寄り天国、万国博は高齢者無料、往復のバスも無料、今回は11回も行った。杖つく妻のために借りた無料車椅子、長蛇のパビリオンも優先的に入場できた。会場はディズニーランドの4倍、4つの入場口があり、入れば無料バスが巡回、また会場内は無料バギーで目的のパビリオンは表れぞれ趣向を凝らして中でも日本のパビリオンは評判が良い。また会場中心ビリオンは評判が良い。また会場中心ビリオンは評判が良い。また会場中心のプラザの夜景は素晴らしい。巨大ドームの天井いっぱいに映し出される映像は幻想的だ。

帰国時ドバイで1回、成田で1回、 3日間隔離のホテルで1回のPCR検 査、都合10日間の自宅待機でようやく 安住。よれよれドバイ紀行でした。



<u>クラブ短信</u>

「人生 100 年時代に 健康で長生きするために 健康を探求する会」がスタート 会の名前が長いので略させてもらって「健康を探求する会」が1月27日(木)、8名の参加を得てスタートした。当面はTBS テレビの健康バラエティー番組「健康カプセル ゲンキの時間」のDVD を観てから残りの時間を健康談議に充てることにしている。3月例会で地域活動部門の部会として承認された。

編集後記 外出気分の高まる春真っただ中になったが、今年も恒例の花 見会が中止になった。相変わらず新型コロナに制約を受ける中、世話人 代表の大木さんが新年度への抱負を投稿。部会紹介では長谷川さんが藤 が谷公園愛護会の沿革について、また久しぶりに探訪部会長の森芳之さ んが健康部会との共催で行われた正月恒例の「七福神巡り」について詳 しく紹介。当クラブの対外的な広報活動の一環として行われた「地域活 動見本市」と「公民館パネル展示」開催結果について世話人会がとりま とめ報告した。小山さんは現在取り組み中の当クラブのあらゆる関連資 料を一元化した記録として保存する「アーカイブ委員会」の現状につい て報告。気象予報士の小川さんにはシリーズの3回目として「春に3日 の晴れはなし」を執筆頂いた。ビフォア・アフターのコーナーでは井上 さんが登場。北岡さんは昨年卒寿の3人を代表して今は昔の物語をご披 露。成瀬さんがご夫婦で息子在住のドバイへの訪問、滯在記をご披露。 今回も多彩な記事で誌面を飾れた。過去5年間にくぐひに投稿した現会 員の投稿回数を調べてみた。最少が1回、最多が15回、平均が5回弱 であった。今後、少なめの人に期待したい。 (塩爺)

会報 くぐひ 第 109 号 2022 年 4 月 1 日 発行 くげぬま探求クラブ 発行人 大木 信一 編集長 塩川 昌男